

全国訪問教育研究会

第24回全国大会（埼玉）開催要項

2011年4月20日

■大会実行委員長あいさつ■

ご挨拶の前に、去る3月11日に発生した東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族に心からお悔やみを申し上げます。また、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。この挨拶文は3月末に書いています。まだ、家族の行方もわからず、生活の先行きもまったく考えもよらぬご家族が何万人もいます。戦後の日本が初めて経験する国家の危機的状況です。しかし、この中で、日本国中に自分のことだけではなく他者を思いやり、助け合う、もともと日本人に備わっている文化が見えています。全国大会が開催される8月には、復興の道程の光がしっかりと輝いていることを祈っています。

さて、私は、平成14年から埼玉県肢体不自由養護学校で始まった医療的ケア運営委員会に関わってまいりました。ということは、今年で10年目になります。学校で安全に有効に医療的ケアができるように、委員会などで話し合っています。また、実際に、巡回指導医として学校を回っています。実際に学校へ行き、医療的ケアの状況を看護教員、養護教諭、担当教諭などとお話しをするうちに、学校で医療的ケアの対象にできない子供たちの存在、そして、その子どもたちへ、訪問教育という形で関わっている先生方のご苦勞を目の当たりにしました。また、微力ですが訪問学級の先生方の相談にも乗っています。私の病院の病棟まで訪問教育に来ていただいてもいます。先生方の高い志に頭が下がります。

医学の進歩によって重度の呼吸障害や胃瘻などの超重症児が増加しています。特別支援学校での医療的ケアの整備は全国で行われていますが、どうしても登校することが困難で在宅医療を継続している児童も多く、訪問教育の意義は非常に高いと考えます。教育の中で、生命維持に直結する医療的ケアを必要とする子どもたちとどのように関わっていくか？訪問教育の場ではどこまで許されるのか？議論が必要です。活発な意見の交換を期待いたします。

埼玉県は人口700万人と大きな県です。東西に広く、大宮はほぼ中央に位置しています。8月はとても暑いと思いますが、大宮には美味しい料理屋なども沢山ございます。できれば、ゆっくり埼玉県を散策していただきたいと存じます。

全国訪問教育研究会第24回全国大会実行委員長

作田 亮一（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター教授）

■大会テーマ■

「地域に根ざした訪問教育を進めよう～地域の中で安心して生きる～」

■開催日時■

2011年8月3日（水）～5日（金） 開場12時00分（開会13時00分）

■会場■

大宮ソニックシティ（最寄り駅：JR大宮駅 徒歩3分）

〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5 TEL:048-647-4111

■主催■

全国訪問教育研究会

■後援■（申請中を含む）

文部科学省・厚生労働省

全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会

社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・社会福祉法人全国社会福祉協議会

認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会・埼玉県特別支援学校校長会

■大会日程■

1日目（8／3）		2日目（8／4）		3日目（8／5）	
12:00	開場・受付開始	9:00	（分科会打ち合わせ）	9:00	ワークショップ
13:00	開会行事・基調報告	9:30	分科会		（～11:00）
13:55	開催地からの報告	12:00	昼食	11:15	閉会行事
15:15	大会記念講演	13:00	分科会	11:45	大会終了
16:45	記念講演終了		親の会懇談会		
17:00	全訪研総会（～17:30）	16:30	分科会終了		
17:45	分科会打ち合わせ （司会・共同研究者・ レポーター）～18:25	16:45	休憩		
		18:30	共同研究者・役員懇談 訪問なんでも交流会		

※2日目（8月4日）の午後に、親の会懇談会を行います。（場所は、同じ会場です。）

■内容■

（1）開催地からの報告（8/3 13:55～14:55）

埼玉県から全国に発信するものは何だろう？…と考えたとき、ハタと思い当たりました。『「伝えたいこと」は一つじゃないんだ！』ってことです。発信するものは、一校一校の実践と歴史の中に、一人一人の胸のうちにこそあるのだ…！と。

埼玉県で訪問教育を実施している各校から、直接、全国に発信してもらいます。きっと、参加者の皆さんの琴線に触れる報告があると思います。

（2）大会記念講演（8/3 15:15～16:45）

演題：「重度の障がい児の将来の生活設計について考える

～地域協働で本当のニーズに応えていくための医療・家族・教育、そして福祉の連携～

講師：綿 祐二（文教学院大学人間学部人間福祉学科教授・社会福祉法人睦月会理事長）

（講師紹介）

1964年、愛知県生まれ。東京都立大学助手後、長崎国際大学助教授を経て、現在、文教学院大学人間学部人間福祉学科・大学院人間学研究科教授。文教学院大学地域連携センター長。社会福祉法人睦月会理事長（障害者支援施設「わかばの家」（入所施設）／大田区立大田生活実習所（生活介護事業）／ケアホーム国立／西東京市田無障害者福祉センター（生活介護事業）特定非営利活動法人福祉なんでも相談室「Cotton Rings（障害児余暇支援事業）」理事長、NPO法人「Cotton Dream（障害者就労支援）」理事長。介護福祉士のあり方および養成プロセスの見直し等検討委員会、介護福祉士国家試験委員（以上 厚生労働省）、精神保健日豪比較研究班研究員（厚生労働省）などを歴任。

専門は「ケアマネジメント研究」「重度心身障害児者のQOL指標に関する研究」「ノンバーバルコミュニケーションの開発」「障害児者地域生活支援」。著書は、「高齢者の寄り添い介護」（黎明書房）「介護の基本Ⅰ」「介護の基本Ⅱ」「生活支援技術Ⅰ」（建帛社）「利用者本位の介護技術」（アニカ出版）「障害者におくる僕らのスポーツ、僕らもスポーツ」（ベースボールマガジン社）「アダプティド・スポーツの科学」「介護福祉士養成講座」「福祉レクリエーション総論」（中央法規出版）など多数。

（講演要旨）

障害福祉領域は、制度政策がめまぐるしく変わり、障がい児者の生活設計においても様々な課題が山積している。重度の障がい児の将来の生活をどのように設計していくのか、また制度はどのように変わっていくのか、将来、誰の支援を受け、どこでどのように暮らすのかを、NPO法人Cotton Dreamの取り組みを事例として紹介し、医療・家族・教育、そして福祉のそれぞれの立場で何ができるか、どのように連携するかを考えてみたい。

(3) 全訪研総会 (8/3 17:00~17:30)

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針等について総会を行います。

- ①活動報告(2010年8月~2011年7月の全訪研の活動内容) ②2010年度決算報告、会計監査
 ③2011年度予算 ④活動方針 ⑤規約 ⑥役員候補 ⑦事務局員委嘱 ⑧連絡員委嘱

(4) 分科会 (8/4 9:30~16:30 ※12:00~13:00は休憩)

分科会名	分科会のねらい(◆共同研究者)
①健康・身体づくり 1	今回は参加者のニーズに応え、2つの分科会を設定しました。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について講義・実践を交えながら交流しましょう。 (※午前はレポート報告、午後は実技講座を行う予定です。)
②健康・身体づくり 2	障害が重く、日常的にさまざまな健康管理が必要な子どもに対する関わりについて。 ◆花井 丈夫 (横浜療育医療センター 理学療法士)
③コミュニケーション	姿勢づくりやこどもの活動を引き出す関わりについて。 ◆桑原 輝男(東京都立府中特別支援学校)
④あそび・文化	重度・重複障害児のコミュニケーションを育てるための援助や配慮について、レポートを元に訪問での実践内容を交流しましょう。小中学部の訪問生だけでなく、過年度卒業生など青年期に入っている生徒についても、「コミュニケーション」という視点から幅広く討議をしましょう。 ◆川住 隆一(東北大学大学院)
⑤施設入所児者の教育	障害が重く、限られた環境条件の中での「あそび」は、どの教師も親も悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、高等部生徒や過年度卒業生など青年期に入っている生徒についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 ☆参加される方は、教材を持ってきてください。分科会内で教材紹介を行います。 ◆木下 博美(京都府立舞鶴支援学校)
⑥病気療養児の教育	施設入所児者の教育内容について、具体的事例を通じて実践を深めていきましょう。また、就学免除者等、不就学者の教育保障について関係者との連携を大切にしながら進み始めている実践を交流しましょう。 ◆河合 隆平(金沢大学)
⑦地域での生活支援と教育 —医療・教育・生活—	“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。 ◆猪狩 恵美子(全国訪問教育研究会会長)
	「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、子どもたちの教育と生活を豊かにする地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたちから内部疾患を持つ子どもたちの地域での生活など、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と生活を考えていきましょう。 ◆綿 祐二(文教学院大学) ◆下川 和洋(全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぽーと研究所)

●分科会レポートの申込みについて

分科会でのレポート発表を希望される方は、次の①~⑤について、**6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。**レポート担当者より、印刷部数やレポート送付先を連絡します。

- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名 ②自宅住所と電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
 ③レポートタイトル ④使用する視聴覚器機(ビデオ、パソコン等)
 ⑤レポートの配布などに関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

<レポート担当> 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山弘子
 FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp

●レポート発表に関して

- ・大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。
パソコン、ビデオ、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。
- ・発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究第24集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくお願ひします。

●大会参加者へのレポートの配布について

- ・各レポート配布はレポーターの判断を尊重します。個人情報保護の観点から、原則としては発表される分科会の中のみとなります。
レポーターが許可し、残部があった場合のみ、3日目に配布が可能となります。
- ・各分科会の内容は、12月末発行の「訪問教育研究集24集」に掲載されます。大会当日の会場でも予約を承りますので、他の分科会のレポートを知りたい方はご利用ください。

(5) 全国訪問教育親の会懇談会 (8/4 13:00~16:30)

大会2日目の午後に、全国訪問教育親の会懇談会を開きます。日ごろ、思っていること、悩んでいること、いろいろ話に来て下さい。訪問(卒業生も含めて)の保護者のみなさんの参加をお待ちしています。皆さんのお話に共感し、アドバイスをして下さる方が、きっと参加して下さいます。なお場所は全訪研大会と同じ会場です。

(6) 訪問なんでも交流会 (8/4 18:30~20:30)

二日目の夜に「訪問なんでも交流会」を企画しています。会場近辺の居酒屋等に席を移し、参加者同士で各地の訪問教育の様子などを語り合ひましょう。全訪研役員や事務局員も合流しますので質問もOKです。(※例年行われております「全国交流会」の代わりに実施します)

(7) ワークショップ (8/5 9:00~11:00)

	ワークショップ名	講師	内容
A	授業づくり	木下博美(京都府立舞鶴支援学校)	表出の少ない重度の訪問の子どもたち。どうすれば、その心に触れることができるのか?どんな授業ができるのか?悩みながらの実践をお伝えします。
B	音楽あそび	濱 尚明(埼玉県立蓮田特別支援学校)	身近な楽器を使って、音と動きを交えた音楽あそびを行います。ユニークな楽器の使い方や、そこから繰り出されるいろいろな音を体感してみてください。(※講師は変更になる可能性があります。)
C	からだづくり	川眞田 喜代子(淑徳大学)	寝ていることが多い訪問生や重度重複の児童生徒について、どのような「からだ」のアプローチをしていけばいいでしょうか。具体的に「ロングタオル体操」を実技を事例に沿って取り組んでいきます。
D	教材作り「スイッチを作ろう」	島原亜理(埼玉県立和光特別支援学校)	肢体に障害のある子どもが使いやすい、軽いタッチで入るスイッチを作ってみませんか?ハンダごてを使い、部品類をつないで作ります。材料費:300円程度 定員30名
E	創作教材	渡辺輝代(埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校)	訪問指導で使えるコンパクトなパネルシアターやエプロンシアター、指人形等、皆さんと一緒に作りながら、いろいろなアイデアを出し合ひって楽しい時間を過ごしましょう。たくさんの参加をお待ちしています。

(8) 全体会(閉会行事) (8/5 11:15~11:45)

大会最終日の全体会です。以下の内容を予定しています。

- ・大会宣言
- ・実行委員長あいさつ
- ・わくわくクラブ(保育)の活動紹介
- ・次回開催地への引き継ぎ
- ・閉会あいさつ
- ・歌「小さないのち」

■わくわくクラブ(保育)と緊急時の体制について■

実行委員会では、子どもさんや障害があるお子さん連れでも、保護者の方に参加していただきやすいように、わくわくクラブ(保育)を設けます。

- 時間帯 次の4つの時間帯でわくわくクラブを実施します。
- (a)8月3日(水) 13:00~17:30
 - (b)8月4日(木) 9:00~12:00
 - (c)8月4日(木) 13:00~17:00
 - (d)8月5日(金) 9:00~12:00

- 緊急時の体制と医療機関(緊急時には、会場近くの病院での対応をお願いしています。)
- 大宮中央総合病院 さいたま市北区東大成町1-227 TEL 048-663-2501

- わくわくクラブ(保育)申込み
- ・大会参加申込書の「わくわくクラブ(保育)の希望」の欄にご記入ください。
 - ・クラブ参加費用、おやつ代や見学代等の費用をいただきます。
 - ・申込書の受け付け後、お子さんに安全かつ快適に過ごしていただくために、お子さんの医療的ケアや生活ケアについて、お伺いします。
 - ・大会当日に、保険証または、そのコピーをご持参ください。

くわくわくクラブ(保育)についての連絡・問い合わせ先>
 〒350-0158 埼玉県比企郡川島町伊草南向野780
 埼玉県立川島ひばりが丘特別支援学校 正田順子
 TEL 049-297-7753 hot-junchan@ezweb.ne.jp

■参加費・宿泊費■

①大会参加費

- ・全訪研会員 (3日間) 6,000円 (1日参加: 2,500円 2日参加: 4,500円)
- ・一般 (") 7,500円 (" : 3,000円 2日参加: 5,500円)
- ・保護者 (") 3,000円 (" : 1,500円 2日参加: 2,500円)

※参加費に加えて、お一人につき、500円の手数料をいただきます。(事前申込み、当日申込みのどちらも500円の手数料がかかります。)

※会員と一般(会員でない方)は費用が異なりますので、ご注意ください。参加申込みと同時に会員申込みをすることも可能です。参加申込書の「入会を申し込む」の欄に○をつけてください。

入会には年会費4,000円が別途必要です。会費は大会当日に全訪研受付でお支払いください。

②昼食代(2日目 8/4) 950円

③宿泊費 <マロウド イン大宮> ※大宮ソニックシティから徒歩3分です。
 シングル(1泊朝食付き) 8,000円 ツイン(1泊朝食付き) 7,000円

■申込み方法■

①大会参加者1人につき1枚「参加申込書」にご記入の上、FAXまたは郵送で、下記の送付先へお送りください。また、全訪研ホームページからもメールで申込みができます。

☆全訪研ホームページ http://www.geocities.jp/chou_masaharu/

※参加申込者が複数いる場合は、恐れ入りますが「参加申込書」用紙をコピーしてお使いください。

※宿泊がご不要の場合でも、参加申込みをしてください。

②申込受付後、予約確認書・請求書をお送りします。

③お送りした予約確認書・請求書の内容をご確認の上、参加費・宿泊費の合計金額を指定口座までお振込みください。

【参加申込書の送付先・問い合わせ先】

〒164-0001

東京都中野区中野5-65-4 山梨ビル302号

株式会社 オズ・プロジェクト「全国訪問教育研究会第24回全国大会」

TEL: 03-5345-5528 FAX: 03-5345-5589

メール: jacky@ozpro.net (担当: 岡田 繁)

大会参加申込み締切 6月30日(木)

■申込み後の取り消しについて■

ご宿泊の取り消しにつきましては、1件1名につき下記の取り消し料金を申し受けます。

ご利用の	14日前～4日前	3日前～2日前	前日	当日12時まで	無連絡不泊
当該料金の	20%	30%	50%	80%	100%

日数は宿泊初日から起算させていただきます。

昼食は、3日前50%、2日前80%、前日・当日100%となります。

※「大会参加費」については返金できません。代わりに、大会記録が掲載された「訪問教育研究第24集」を12月末に送付致しますので、ご了承下さい。

■資料の請求について■

大会に参加できないが大会記録がほしいという場合は、12月末に発行される「訪問教育研究第24集」を送付致します。大会の記念講演や分科会まとめ、訪問教育に関する資料が掲載されています。下記の郵便口座に資料代(送料込み)として、1,080円の入金をお願いします。振替用紙の「通信欄」に、「資料請求代」と明記して下さい。資料請求の受付は、6月30日までです。

【資料請求の振込先】 郵便振替口座番号「00130-2-95934 全国訪問教育研究会」

(※全訪研会員には、12月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第24集」を送付しますので、資料請求のみの申込みはなさないよう、ご注意ください。)

■会場へのアクセス■

＜電車にて＞

JR大宮駅西口より、徒歩3分(歩行者デッキ直結)

◆新幹線で

- 東北新幹線：新青森→大宮
- 秋田新幹線：秋田→盛岡→大宮
- 山形新幹線：山形→福島→大宮
- 上越新幹線：新潟→大宮
- 長野新幹線：長野→高崎→大宮
- 東北・上越・長野新幹線：東京→大宮

◆在来線で

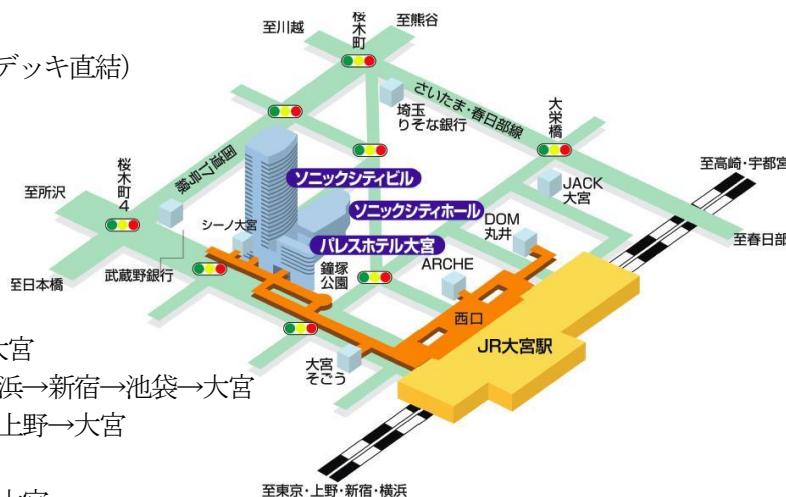
- JR 湘南新宿ライン：横浜→新宿→池袋→大宮
- JR 高崎線・宇都宮線：上野→大宮

＜空港から＞

- 成田空港：JR 成田エクスプレス →大宮
- 京成スカイライナー →上野乗り換え：JR 高崎線・宇都宮線→大宮
- 高速バス ON ライナー →大宮
- 羽田空港：モノレール →浜松町乗り換え：JR 京浜東北線→大宮
- 高速バス →大宮

＜お車にて＞

- 首都高速道路埼玉大宮線「新都心西IC」より1km
- ※大宮ソニックシティ地下駐車場は7時～23時。料金は30分/200円です。



■問い合わせ先■ 全訪研ホームページ http://www.geocities.jp/chou_masaharu/

全訪研会長	：猪狩 恵美子(福岡教育大学) TEL 0940-35-1520(研究室) emikari@hotmail.com
全国事務局長	：長 正晴 TEL&FAX 049-231-6941 chou_masaharu@yahoo.co.jp

- ＜参加申し込み・宿泊関係＞株式会社オズ・プロジェクト(担当者：岡田 繁)
TEL 03-5345-5528 FAX03-5345-5589 jacky@ozpro.net
- ＜大会全般＞田中英毅(大会事務局長) TEL&FAX 048-985-7760 hidetanakarabotamochi@hotmail.co.jp
- ＜分科会関係＞栗山弘子(全国事務局) TEL&FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp
- ＜会費関係＞大島元敏(全国事務局) TEL&FAX 042-562-9343 fujiyaki@happy.odn.ne.jp
- ＜大会資料＞角田隆子(全国事務局) TEL&FAX 03-3612-3951 nikoniko93@kjc.biglobe.ne.jp
- ＜研究録集＞榎木暢子(全国事務局) TEL&FAX 044-722-3299 nak-wm.jinya@withe.ne.jp

全国訪問教育研究会 第24回全国大会 (埼玉) 参加申込書

受付 NO

参加者 1名につき、1枚の申込書をご利用ください。(家族の方は1枚で構いません。) **申込締切日 6月30日**

申込日 平成23年 月 日

フリガナ 申込者名		連絡先 (ご自宅の住所、電話番号をご記入ください) 〒 _____
フリガナ 所属先		TEL/FAX _____ / _____ E-Mail _____
		大会参加と同時に全訪研に入会申し込みをする方は、下欄に「○」をご記入ください。 入会を申し込みます。

フリガナ 参加者氏名	性 別	参加 (参加日に○をつけてください。)			8/4 な ん で も 交 流	宿泊 (1泊朝食付き)		8/4 弁 当 950 円	分 科 会 シ ク ラ ブ 発 表 ・ レ ポ ー ト	司 会 発 表 係	保 育 希 望 500 円	手 数 料 500 円	合計金額
		8/3	8/4	8/5		8/3	8/4						
例 サイタマタロウ 埼玉太郎	男 女	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	シングル ツイン	○ ○	○ ○	⑥ A	司 会	○ ○	○ ○	円 円
本人	男 女					シングル ツイン							円
家族	男 女					シングル ツイン							円
家族	男 女					シングル ツイン							円
家族	男 女					シングル ツイン							円

変更・取り消しに伴う返金の口座 (ご自身の口座をご記入ください。)

銀行名 : _____ 銀行 _____ 支店 _____ 口座番号 : 普・当 _____ 口座名義 : _____	確認後、受付 NO を記入したものを返送しますので、控えとしてお取り置きください。 ご変更などの場合はご面倒ですが本紙に変更内容を追加記入いただき、FAXにてお願い致します。 また、変更や取消により生じたご返金につきましては、左記口座へお振込させていただきます。	合計金額	
		円	円

申込書 FAX 先:株式会社 オズ・プロジェクト FAX : 03-5345-5589 担当:岡田